# 真法会研究室

## 研究室案内2023

制作
真法会研究室

# 心と力のある法曹になるために
## ー新制度・新キャンパス下における真法会の強みー



中央大学真法会理事長
（中央大学法科大学院教授・弁護士）
小林明彦

法曹になることだけを目的に学ぼうとする人は、他の道に進んだ方がよほど幸せでしょう。学生時代は、目の前の試験ではなく、その先にある未来、すなわち、君たちが心と力のある法曹として永く人生を歩んでいくためにあることを忘れてはなりません。

では、学生時代には一体何をすべきか。それは、ゆるぎない向上心を持って、物事を熟考する姿勢と、試練を乗り越える胆力とを鍛えることです。法律家として本当に良い仕事をするためには、これらの要素が極めて重要なのです。

とはいえ、こうした内面の強さは、一朝一夕に鍛えられるものではありませんし、自分一人の力で身につくものでもありません。多くの人たちと交流し、議論し、さらに自分の内面に立ち返って熟慮する、といった過程を繰り返すことにより、少しずつ、しかし着実に、足腰の強い実力として醸成されていくのです。

これまで多くの真法会員は、学生時代にこうしたトレーニングを重ねることにより、心と力のある法曹となって、社会の各方面で活躍してきました。
そしてこのことは、法曹になるまでの期間短縮を図ろうとする一貫教育コースを始めとした新しい法曹養成制度の下においてこそ、従来にも増して大きな価値を発揮するものといえましょう。合格が早いだけでその後の伸びしろを持たない残念な実例を、私はこれまで、数多くの外部の合格者に見て来ました。早期に合格し、かつ着実な社会的存在として大成できるよう、今の時間を大切に過ごすことが肝要です。

真法会の強みは、まず充実した学習環境、学習制度にあります。室員は学年を越え、日夜議論し合いながら法律学習に励みます。さらに、司法試験合格者や法科大学院合格者による後輩指導が年間カリキュラムに沿って実施されています。このカリキュラムは、決してマンネリ化することなく先輩弁護士たちによって都度ブラッシュアップされ、またコロナ禍においても、オンラインを利用して例年どおりに実施されてきました。昨年度は対面での実施を再開しコロナ禍以前の研究室生活に戻りつつあります。

これらの充実した学習環境、研究室運営を支えるのは、室員相互間、室員と先輩会員間のつながりの深さです。これを象徴するのが毎年実施されている様々な行事です。中でも裁判所、検察庁、弁護士事務所訪問は、実務家の生の姿に触れることができる貴重な体験となります。これらを通して、室員は漠然とした自分の法律家像を明確なものとし、より一層日々の勉強に磨きをかけています。茗荷谷キャンパスに移転した今、先輩会員たちとの距離が物理的にも近くなりますから、こうした交流の密度がより一層高まるでしょう。

真法会は、こうした環境を十分に生かしてお互いに高めあっていく文化を今も大事にしつつ、時代に即して明るく開かれた学生主体の組織を運営しているからこそ、全国的に知られた中央大学随一の学術研究団体であり続けています。茗荷谷キャンパスでは地下2階の一番奥にある最も静謐な場所を優先的に割り当てられた真法会の門を叩いてみませんか。



# 真法会研究室とは

私たち真法会研究室は、炎の塔学研連所属の研究室です。その歴史は長く、今年で創立89周年を迎えます。これまで、法曹界を中心に、政財界、学界などにも多くの優秀な人材を送り出してきました。その中には、最高裁判所判事、最高検察庁次長検事、日本弁護士連合会会長など、重要な役割を担った先生方もいます。私たち室員は、多くの偉大な先輩方の姿に刺激を受け、自らの志を常に高く持ち勉学に励んでいます。

現在、真法会研究室の室員は48名（男24名・女24名）です。在学生は炎の塔内の研究室にて、定席での自習学習や室員間での議論を通じて、互いに切磋琢磨して日々の学習に励んでいます。

## 2022年度司法試験合格者･･･15名

2022年度の司法試験では、全学研連1位の15名の合格者を輩出しました。直近5年間での合格者75名という数字も、全学研連トップの成績です。

## 当研究室出身の法律家･･･約600名

真法会研究室出身の法律家は現在、約600名います。そして、真法会研究室には、実務家である先生方と交流する機会が多くあり、自身の将来像についてイメージを膨らませることができる環境が整っています。

Contents

P1　理事長挨拶
P2　真法会研究室とは
P3　司法試験制度について
P4　カリキュラムゼミ
P5　学習環境
P6　研究室のルール
P7-8　年間行事
P9　合格実績
P10　実務家からのメッセージ
P11　経済的バックアップ
P12　入室試験関連
P13-14　あとがき

# 司法試験制度

## 中央大学

中央大学では、令和２年度から新しいコースが始まりました。
この法曹コースを利用することで法科大学院と一貫した教育を受け、
学部を３年間で卒業することができます。

在学中・後

### 予備試験

司法試験予備試験は、法科大学院を修了した者と同等の学識を有するかどうかを判定する試験です。
合格者には法科大学院修了者と同じく、司法試験受験資格が付与されます。

学部3年間在学　法曹コース

学部4年間在学　法曹コース以外

### 法科大学院

法科大学院は、放送に必要な学識及び能力を培うことを目的として設置されました。
3年間の未収者課程もしくは2年間の既習者課程のいずれかを修了すると司法試験受験資格が与えられます。

### 司法試験

裁判官、検察官、弁護士になる資格を得るための試験です。短答試験と、論文試験があります。

### 法律家へ



# カリキュラムゼミ

## 段階的に学べる　法律学習の強い味方

初めての法律の勉強に不安を感じている方も多いと思います。
真法会研究室では、司法試験やロースクールに合格した先輩方によるカリキュラムゼミが組まれており、法律を一から段階的に学び、しっかりとした実力を身につけることができます。
また、ゼミの前のアンケートによりチューターへ直接、希望を伝えることもできます。

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|---|---|---|---|
| 8月初旬〜9月中旬 | 民法新歓ゼミ | 両訴講義ゼミ | 両訴論文ゼミ |
| 合宿(9月中旬) | 民法論文ゼミ | 両訴論文ゼミ | 合宿論面 |
| 10月上旬〜11月下旬 | 刑法講義ゼミ | 商法講義ゼミ | |
| 11月中旬〜12月下旬 | 刑法論文ゼミ | 商法論文ゼミ | |
| 1月下旬〜3月下旬 | 憲法講義ゼミ<br>憲法論文ゼミ | 行政法講義論文ゼミ<br>上三法答案練習ゼミ | |

法曹コースに対応したカリキュラムゼミとなっております！

**講義ゼミ**　真法会オリジナルのレジュメを使い、基礎的な知識の定着を図るゼミです。

**論文ゼミ**　問題演習を通じて、論文の書き方を学ぶゼミです。
実際に答案を書くことで、実践力が身につきます。

**答案練習ゼミ**　論文を書き、先輩に添削してもらうゼミです。1対1の指導で、さらなる力を養います。

1、2年生には原則ゼミには参加してもらいますが、一人ひとりの時間帯を考慮した日程でゼミを組むため、バイトやサークルとの両立もできます！

# 学習環境

## 豊かな知識を育む、豊かな環境

## 共同研究室



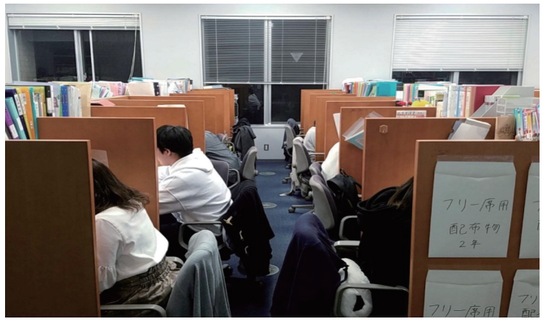
真法会研究室の扉を開くと、共同研究室があります。室員はここでわからない箇所についてお互いに議論したり、学習の息抜きとして休憩をとったりします。1年生から4年生まで室員間の交流を深めることができる空間です。

パソコン1台、コピー機、冷蔵庫、電子レンジなどが完備されており設備も充実しています。

## 中部屋

共同研究室の奥の扉を開くと、中部屋があります。中部屋には冷暖房、加湿器、そして全部で62席ある定席には、1席につき2つのコンセントが完備されています。

真法会研究室に入室すると、1人1つ定席が与えられます。定席は快適な環境で、集中して学習に取り組むことができるようになっています。





## 蔵書

真法会研究室には書籍や資料が共同研究室にあります。室員はここから判例集や基本書を自由に閲覧し、借りることができます。

※写真はイメージです。



# 研究室のルール

## 研究室の運営

真法会研究室では、入室2年目の室員が研究室の運営を担っています。

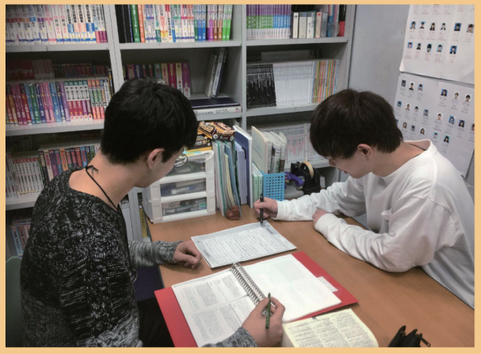
法曹をはじめとする多くの先輩方と関わることによって、机の上では得られない貴重な経験をすることができます。法曹や企業人となった多くの先輩方が社会に出て役立ったと仰っています！




## 登室制度

真法会研究室では、室員が積極的に登室することにより、互いに高め合える環境を作っています。また、3日以上にわたり登室できないときは事前に連絡をすることをルールとしています。

※現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため停止中



## 共研当番

真法会研究室では、室員が順番に、朝と夕方それぞれ30分程度、研究室の掃除などを行います。これによって、快適な学習環境を確保することができ、室員全体が集中して法律の学習に打ち込むことができます。

## 室費

真法会研究室では、研究室の快適な環境を維持するため、月に3000円の室費がかかります。

# 年間行事



## 5月　新歓スポーツ大会

バレーボール、ドッジボールをして楽しみ、たくさんの先輩・後輩や同期と交流を深めることができる機会です。

## 8月
## ロースクールガイダンス

教鞭をとっている先生方や法科大学院在学中の先輩から各学校の紹介や進学へのアドバイスを聞くことができます。



## 裁判所・検察庁見学
## 9月
## 夏季合宿

4泊5日の合宿を行います。費用は2万円程度です。合宿はゼミ、自主学習などに集中して打ち込みます。最終日にはBBQ、打ち上げがあり、室員間の交流が深まります。




## 11月
## 創立記念式典

真法会最大の行事であり、普段会うことのできない著名なOB・OGの先輩方と交流できます。

## 司法試験合格者ガイダンス

その年の司法試験に合格された先輩方から学習方法や心構えについてのアドバイスをいただける貴重な機会です。



## 12月　忘年会
## 2月　弁護士エクスターンシップ
## 3月　卒業生歓送会

お世話になった先輩方の門出を祝います。



# 裁判所見学

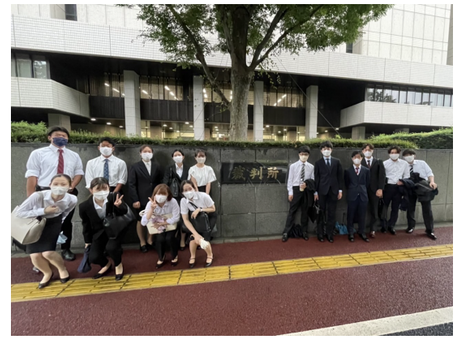
真法会研究室の先輩方が働く裁判所を訪問し、裁判傍聴や施設の見学をします。

室員の感想

裁判所見学を通じて、法曹三者についての具体的なイメージを持つことができました。

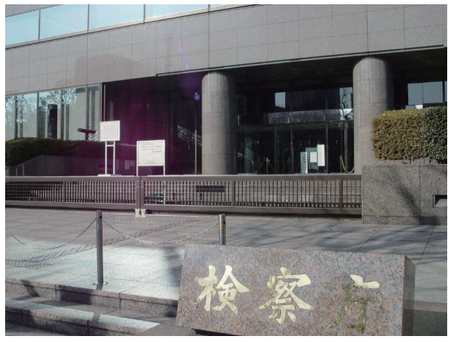
裁判傍聴では、真法会研究室OBの先輩方が実際に担当している裁判を傍聴し、実務の雰囲気を肌で感じることができました。傍聴後には理事長の事務所に訪問させていただき、そこで、裁判を担当したOBの先輩方に事件の概要や争点を解説していただきました。実際に法曹として働いている方、ましてや実際に裁判を担当した方から直接お話を伺うことができる機会は本当に貴重で、法曹の魅力を改めて確認できたとともに、法曹になる意思を強く持つことができました。

（2年　岡部聖希士）



# 検察庁見学

真法会研究室の先輩方が働く検察庁を訪問し、証拠品倉庫など、一般の人が見学することのできない施設を見学できます。




室員の感想

検察庁見学では、普段私たちが机に向かっているだけでは得難い体験をさせていただきました。検察官がその場で模擬取調べを行ってくださり、実務家の大変さが分かるとともに憧れを感じました。また、実際に使われている防刃チョッキや手錠を着用させていただくことができました。さらに私たちの先輩である検察官に質疑応答の時間を設けていただき、そこでは業務に関するものから仕事のやりがいまでたくさんの貴重なお話を聞くことができました。この訪問では検察官の仕事の具体的なイメージを掴むことができ、自己のキャリアを考える一助となりました。

（3年　鮎澤花音）

# 弁護士事務所訪問

真法会研究室の先輩方が働く弁護士事務所へ訪問させていただきます。先生の事務所を実際に見学させていただいたりお話を聞かせていただいたりすることができます。

室員の感想

将来法曹を志望している人も、弁護士の先生方が具体的にどのようなお仕事をしているのか初めはイメージが湧かないことが多いと思います。この弁護士事務所訪問では、実際に弁護士事務所へ行き、実務家の先生方から普段のお仕事を具体的に聞くことで、今自分が大学で勉強している座学がどう実務に生きているのかを実感することができます。このような普段味わえない経験ができるのも真法会研究室の魅力の1つだと思います。

(3年　鈴木郁美)



# 合格実績

2022年度
司法試験合格者
１５名

## 法科大学院合格実績

私立
中央大学……15名（全免12名、半免2名）
慶應義塾大学‥12名
早稲田大学‥‥4名
明治大学……2名（全免１名）

国立
東京大学‥‥‥10名
大阪大学‥‥‥1名
京都大学‥‥‥1名

### 佐藤樹（法学部法律学科卒業）



東京大学法科大学院（進学先）
他、
中央大学法科大学院
慶應義塾大学法科大学院
合格！

真法会研究室の一番の魅力は室員同士やOBOGとのつながりの強さです。カリキュラムゼミを受講して法的思考力を鍛え、疑問点を先輩や同期に質問したり、起案した論文を添削したりしてもらうことで、法律の学修を進めることができました。司法試験の道のりは険しく、特に法科大学院受験は肉体的にも精神的にも大変でしたが、同じ目標をもって切磋琢磨してきた同期や応援してくれた先輩、後輩の存在があってこそ乗り越えられたのだと実感しています。

また、研究室運営を行う中で外部の人や目上の人と接する機会が多くあり、礼儀作法や社会人としてのマナーを身に着けることができました。充実した研究室生活で得た学びは、今後様々な壁にぶつかって逃げたくなった時に心の支えになってくれると確信しています。このような経験から、私は真法会研究室に入室して良かったと胸を張って言うことができます。皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

### 清水柚花（法学部法律学科卒業）



中央大学法科大学院（全額免除）
（法曹コース利用）
（進学先）
合格！

法曹コースを利用して卒業するうえで、真法会研究室の良さは整った環境と、縦と横のつながりの強さにあると実感しております。

真法会は、定席・ロッカーの貸与に加え蔵書が非常に充実しており、TOEICなどの外国語技能検定試験などの受験に際しては受験料の半額を負担してくれるという快適な学修環境が整っています。また、司法試験・予備試験に合格された先輩方がカリキュラムゼミを開講してくださっており、日常的に論文の添削や試験に向けての相談が可能となっています。

また、真法会には豊富な行事があり、同期だけでなく学年を超えて親睦を深めることができます。例えば、新入生歓迎会ではスポーツ大会が恒例となっており、毎年白熱した闘いが繰り広げられます。真法会は、その歴史の長さと多くの室員が在籍していることから様々な経験を享受することができます。みなさんもぜひ真法会研究室の門を叩いてみてはいかがでしょうか。



# 実務家からのメッセージ

## （弁護士）

私は現在、都内の企業法務を中心に扱う法律事務所で勤務し、独占禁止法やM&Aに関する業務に従事しています。2年目になりますが、新しいことの連続で、弁護士は一生勉強していかなければならない職業であることを実感しながら、充実した日々を過ごしております。

さて、司法試験に合格するために最も重要なものと聞かれて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。私は、「環境」であると考えます。真法会研究室には、切磋琢磨できる同期、優秀な先輩方、その先輩が実施してくれる講義、実務家のOBの先生方と交流できる機会、そしてこれらを支える　「上から受けた恩を下に返す」という風土があります。私は、司法試験に合格するための日本一の環境が「真法会研究室」であると確信しております。

他にもここでは語りきれない真法会研究室の魅力はたくさんありますが、それは皆さんが真法会研究室に入室して実感してください。皆さんの入室を心からお待ちしております！

## （弁護士）

私は現在、東京都内の企業法務を主に扱う法律事務所で働き、毎日試行錯誤しながら充実した日々を過ごしています。私は、中学生の頃から漠然と弁護士になりたいと考えていましたが、真法会研究室に入室した後、OBの先生方の事務所を見学させていただいたり、OBの先生方から弁護士の魅力を伺ったりする中で、自分がなりたい弁護士像を明確にすることができました。

真法会研究室は、実務家（弁護士、検察官、裁判官）や民間企業等に就職したOBの方々と、世代を超えて交流する機会を与えてくれます。先輩、同期、後輩と広く深いつながりを築けるのが真法会研究室の強みだと思います。もちろん、勉強面でも、ゼミや論文の添削等、非常に充実したサポートを提供してくれます。私が弁護士になることができたのも、真法会研究室で優秀な先輩方から指導を受けられたお陰です。

皆さんも真法会研究室に入って自分の将来の選択肢を増やしてみませんか？

## （検察官）

私は、現在、山形地方検察庁で捜査・公判をしています。
検事の仕事は、真実を解明し、法に則って被疑者に対して適切な処分を行うことです。
適切な処分をするためには、被疑者だけでなく、被害者、事件関係者とよく話して、現場や証拠(凶器や映像等)を実際に見て、その上で警察に対し補充捜査を指示し、協力して捜査を行います。

真法会研究室は、協力して研究室の運営をしたり、長い受験勉強を乗り越えたりすることで、学問の研鑽のみならず、人格の陶冶も目標にしています。

現在私が行っている上記の仕事は、真法会で培った力をフル活用するものだと思います。
真法会研究室では、検察庁見学等のイベントや先輩方との交流を通じて、理想の検事像を模索しながら勉強でき、現に、私を含め同学年からは5名の検事を輩出しております。

皆様が真法会研究室で有意義な学生生活を送られることを祈っています。

## （裁判官）

私は、任官してから３年間金沢地方裁判所で勤務し、刑事裁判、民事裁判等を担当してきました。裁判官は、紛争の当事者を仲介し和解案として解決の方向性を示したり、その権利が認められるのかの判断を判決で示したりして紛争の解決に関わります。不利な判断内容となる当事者からも納得を得るために、証拠を緻密に分析した上で、紛争の当事者間で実際に何が起こったのかを説明したり、法律の文言や趣旨・目的に照らして、法律を解釈適用したりするよう努めてきました。

真法会研究室では、カリキュラムゼミを初めとする学習支援体制が充実しています。先輩から法律の知識、考え方を叩き込んでもらえたことはもちろん、同期との間で、法解釈について活発に議論したことや多くの論文を書いた上で検討し合ったことが、間違いなく現在の仕事の確かな土台となっています。真法会研究室に入室すれば、きっと共に切磋琢磨して高め合える素敵な仲間に出会えることでしょう。

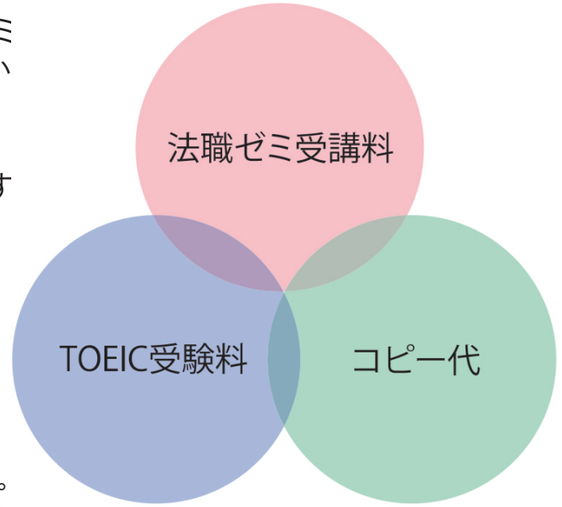
# 経済的バックアップ

法律学習のためには、法職多摩研究室のゼミ受講料、法職答案練習会の受験料など、何かとお金がかかります。

　そこで、経済的な事情で学習の機会を逃すことがないように、これらの受験料の半額程度を援助しています。

　また、法科大学院受験や就職に必要なTOEIC受験料についても半額援助を行っています。

　さらに、研究室内のコピー代は通常のコピー代の半額である1枚5円となっています。




## 法曹志望者以外の支援

　真法会研究室は法曹志望者への支援はもちろんのこと、公務員や民間企業を志望する室員への支援も行っています。

## 実業友の会

　実業友の会とは、主に公務員や民間企業などで活躍する真法会研究室の卒業生により運営される団体です。

　実業友の会では、公務員や民間企業への就職を志す室員に対し、多方面で活躍している先輩方による進路指導や、エントリーシートの添削、模擬面接などの就職支援を行っています。

### 相田隼佑（法学部法律学科）



【就職先】
法務省出入国管理局

　入室当初は検察官を目指すか、公務員を目指すか迷っておりました。そんな中、在学中に様々なバックグラウンドを持つ室員と関わることで、私自身が真に携わりたい仕事を見つけることができました。真法会研究室は室員の多くが法曹界に進みますが、民間や公務員を進路とした先輩方も多数おり、他の室員とも切磋琢磨しながら就職活動を行うことができます。とりわけ公務員試験においては、法律科目が配点のうち大きな割合を占めていることがありますが、真法会研究室独自のゼミや論文添削を受けることで、試験勉強をスムーズに進めることができます。

　真法会研究室は司法試験の合格を目指すのみでなく、民間や公務員就活の助けとなる環境が整っております。また、研究室での活動を通して、充実した大学生活を送ることができます。ぜひ多くの方に興味を持っていただければと思います。



# 入室試験要綱

応募資格　本学1・2年生（学部学科不問）
募集人員　1・2年生（計20名程度）

## 一次試験・・・4月15日（土）

▶筆記試験（適性試験、一般論文）

## 二次試験・・・4月23日（日）

▶面接試験

**対面新歓のご案内**

4月1日(土)より実施される茗荷谷キャンパスでの出店にぜひお越しください！

※一次試験及び二次試験は対面で実施いたします。
※受験される方は、念のため、4月23日（日）は予定を一日中開けておくようにしてください。
※詳しくは別紙募集要項をご参照ください。

詳しい試験情報、応募方法については、
真法会ホームページ又は公式Twitter等をご参照ください。
そのほか、オンライン説明会等の新歓に関する情報も更新しています！

公式Twitter

公式Instagram

# あとがき

　このパンフレットを手にして読んでいる皆さんは、司法試験や法曹という職業に少なからず興味があるということでしょう。しかし、そうした目標を達成するためにはどうすればいいのかわからず、漠然とした不安を感じている方もいるのではないでしょうか。

　真法会研究室には、学年を超えて日々語り合い、お互いを高めあうことのできる仲間がいます。ゼミはもちろん、自学自習という面においても肩を並べて共に学ぶことのできる仲間の存在は大きな力となります。

　また、真法会研究室では実務家の先生方と交流し、その仕事を間近で見る機会も数多くあります。実務を知ることは、自身の将来像をより明確化し、学習意欲を高めていく上で不可欠です。机に向かうだけでなく、在学中から法律実務に触れることができるのは、多くの先輩法律家との強いつながりを持つ真法会研究室の特色の一つです。











　真法会研究室の最大の特徴である強い「縦のつながり」と「横のつながり」はみなさんの法曹への道筋を照らす助けとなり、また一生の財産となるでしょう。

　みなさんが真法会研究室の一員となり、ともに切磋琢磨する日が来ることを室員一同心待ちにしています。

Thank you for reading!